

令和3年度(2021年度)北海道企業局工業用水道事業経営懇談会 議事録

1 日 時

令和4年(2022年)3月2日(水) 10:00～11:30

2 場 所

北海道庁別館庁舎10階 企業局会議室

(構成員のうち谷口構成員・宇野構成員・渡辺構成員の3名は Zoom ミーティングを活用したリモート出席)

3 出席者

村上座長、河野構成員、谷口構成員、宇野構成員、渡辺構成員(敬称略)
(事務局)

三島局長、阿部次長、出口課長、寺崎課長、多賀課長補佐、上田課長補佐、
栗原主幹、戸田係長、城岡主任、竹中主任

4 議 事

(1) 道営工業用水道事業の現況について

○ 事務局から資料説明(資料1:戸田係長)

◎ 構成員からの主な意見

(資料1に関すること)

【道営工業用水の現況に関する意見】

《宇野構成員》

- ・ 再エネの企業が工業用水を使っているということを積極的にアピールしていいし、また、一般会計部門とも連携を深めて、脱炭素化の方向へ工水が積極的に貢献できるような方法を考えてもいいのではないか。

《河野構成員》

- ・ 石狩湾新港地域はこれからの再エネの基地になり得ると思うので、その再エネに石狩工水がどのように関わっていけるのか、アピールをしていくべきではないか。

《村上座長》

- ・ 石狩工水の給水能力は1万2千立方メートルで、あと10年以内に契約率が7割近くまで来るということになると、給水能力が不足するようなことにならないのか、若干懸念される。

(2) 道営工業用水道施設の改修計画について

○ 事務局から資料説明(資料2:上田課長補佐)

◎ 構成員からの主な意見

特になし。

(3) 工業用水道事業の令和2年度決算と経営状況について

(4) 工業用水道事業令和4年度予算(案)について

○ 事務局から一括して資料説明(資料3、資料4:戸田係長、多賀課長補佐)

◎ 構成員からの主な意見

(資料3、資料4に関すること)

【工業用水道事業の経営状況に関する意見】

《河野構成員》

- ・ 黒字になっているのは室蘭工水と苫小牧工水だけで、石狩工水については減少してはいるものの赤字がずっと続いているので、要は石狩工水の契約率を上げるよう一生懸命やることが重要。石狩工水に特化してトップセールスをしていくというぐらいにしていけないといけないのではないか。

《谷口構成員》

- ・ 令和4年度予算をみると、受水拡大で収益が増加する一方、耐震化を含めた調査費など費用の増加を見込んでおり、収支の改善につながっていない。

(5) 工業用水需要開拓の推進について

○ 事務局から資料説明(資料5:栗原主幹)

◎ 構成員からの主な意見

(資料5に関すること)

【工業用水需要開拓に関する意見】

《宇野構成員》

- ・ 制作した動画を視聴してもらえるよう引き続き努力してほしい。

《渡辺構成員》

- ・ 閲覧者がどこから情報を得たのかなど、Facebookで確認しながらPR活動をしていくといいのではないか。